

令和6年8月度・残留農薬分析結果について

大庄グループ店舗が使用している青果物を中心とした全ての食材を対象に、総合科学新潟研究所が品目・産地を指定して残留農薬分析を行った結果をご報告致します。

- 分析の結果、32点中、27点で残留農薬が一切検出されませんでした。
- 農薬を検出した5点（赤パプリカ、いちご、レモン、キウイフルーツ、セロリ）も、大庄基準（国の基準の1/2）以下であり、安全性を確認致しました。

分析結果（詳細）

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

No.	品 目 名	産 地 (加工地)	生 産 者 等	検 出 農 薬 (用 途)	分析値 (ppm)	大庄基準値 (ppm)	国内基準値 (ppm)
1	だいこん	北海道	ホクレン農業協同組合連合会	検出なし	—	—	—
2	ながねぎ	茨城	菅谷農園	検出なし	—	—	—
3	赤パプリカ	韓国	0803	フェンバレート（殺虫剤）	0.02	0.25	0.50
4	いちご	イギリス	0804	ブピリメト（殺菌剤）	0.01	0.01	0.01
5	まいたけ	長野	ホクト(株)	検出なし	—	—	—
6	キャベツ	群馬	JA婦恋村	検出なし	—	—	—
7	剥きたまねぎ	中国	0807	検出なし	—	—	—
8	サニーレタス	長野	0808	検出なし	—	—	—
9	大葉	愛知	豊橋温室園芸農業協同組合	検出なし	—	—	—
10	トマト	群馬	JA利根沼田	検出なし	—	—	—
11	ミウガ	高知	JA土佐くろしお	検出なし	—	—	—
12	ニガウリ	茨城	0812	検出なし	—	—	—
13	みつば	埼玉	(株)金子園芸	検出なし	—	—	—
14	ながいも	茨城	0814	検出なし	—	—	—
15	しょうが	千葉	JAかとり	検出なし	—	—	—
16	じゃがいも	茨城	0816	検出なし	—	—	—
17	レモン	チリ	0817	アゾキシストロビン（殺菌剤） フルジオキシニル（殺菌剤）	1 2	5 5	10 10
18	キウイフルーツ	チリ	0818	フルジオキシニル（殺菌剤）	1	10	20
19	黄パプリカ	韓国	0819	検出なし	—	—	—
20	アスパラガス	長野	JA上伊那	検出なし	—	—	—
21	セロリ	長野	0821	ペンディメタリン（除草剤）	0.01	0.045	0.09
22	さつまいも	茨城	0822	検出なし	—	—	—
23	パイナップル	フィリピン	0823	検出なし	—	—	—
24	みずな	福岡	0824	検出なし	—	—	—
25	にんじん	中国	0825	検出なし	—	—	—
26	刻み野菜塩漬	日本	0826	検出なし	—	—	—
27	鶏胸肉	タイ	0827	検出なし	—	—	—
28	ホッケ開き	アメリカ	0828	検出なし	—	—	—
29	キス	ベトナム	0829	検出なし	—	—	—
30	冷凍ほうれんそう	中国	0830	検出なし	—	—	—
31	乾燥いちじく	トルコ	0831	検出なし	—	—	—
32	なす浅漬	大阪	0832	検出なし	—	—	—

注) ① 生産者名の一部は、産地及び生産者等の都合により、番号で記載しております。

② ppm : パーツ・パー・ミリオン(parts per million)の略で、1ppmは、食材1kgあたりに1mgの農薬が含まれることを示します。

<参考>

① 調査対象食材(検体)の抽出方法

大庄基準で定めた抽出方法(大庄ホームページに掲載)で、大庄グループの店舗への全ての流通(納品)を対象に抽出調査を行っています。

② 残留農薬の分析方法

GC/MS(ガスクロマトグラフ質量分析計)を用いた、一斉分析法。

③ 分析対象農薬

254成分(殺菌剤68,殺虫剤105,除草剤74,植物成長調整剤4,葉害軽減剤3)

④ 大庄グループでは生産者の皆様との連携を深め、可能な限り農薬使用を減らしていただき、残留農薬の無い食材を確保するように努めてまいります。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。